

# 石見銀山

(島根県大田市)

## 注目ポイント！

世界遺産登録を目指した、官民協働による石見銀山の保全と活用。  
住民主体で行う、地域風土を活かした「まちづくり」と「おもてなし」。



世界遺産推薦書をユネスコ世界遺産センターが受理  
ボランティアガイドの利用者が、10,000人(H17)を超える。(H12:約3,000人)



龍源寺間歩(採鉱のために掘られた坑道)

## コラム

大田市の温泉津温泉町並み保存地区にある老舗旅館「吉田屋」を継ぎ、若女将になった山根多恵さん。旅館吉田屋が後継者探しで悩んでいることを知り、大阪からのJターンを決めた。

石見銀山の世界遺産登録による雇用機会創出を図る大田地域雇用創出促進協議会推進本部のアドバイザーを務めた後、旅館の後継者となる人材育成を目指した「若女将塾」を起業。

旅館のホームページ作成や留学の経験を活かした外国人の接客に意欲を燃やしている。

## これまでの経緯

- |             |   |
|-------------|---|
| 昭和32年(1957) | 大森町文化財保存会が結成される。  |
| 昭和44年(1969) | 日本初の鉱山遺跡として国史跡に指定される。   |
| 昭和62年(1987) | 大森の町並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定される。   |
| 平成12年(2000) | 「石見銀山観光ボランティアガイドの会」が発足する。   |
| 平成13年(2001) | 世界遺産暫定リストに登録される。  |
| 平成14年(2002) | 柵内、山城跡、沖泊・鞆ヶ浦の港湾が国史跡に追加指定される。   |
| 平成15年(2003) | 空家の有効利用や音楽会を行う「NPO法人 納川の会」を設立。  |
| 平成16年(2004) | 温泉津の町並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定される。  |
| 平成17年(2005) | 石見銀山景観保全例を施行、史跡石見銀山遺跡保存管理計画を策定する。<br>石見銀山協働会議を設置する。   |
| 平成18年(2006) | 世界遺産推薦書をユネスコ世界遺産センターが受理する。<br>(推薦資産の名称は「石見銀山遺跡とその文化的景観」。)<br>「石見銀山観光ボランティアガイドの会」が「石見銀山ガイドの会」に名称を変更し、有料化する。<br>石見銀山協働会議が「石見銀山行動計画」を策定する。 |



坑道入り口

## 主な取り組み

### 歴史を活かした町並みの保存

昭和62年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された石見銀山・大森の町並み。平成元年の「手づくり郷土賞」受賞により、多くの住民が歴史ある町並みが地域にとって欠くことのできない財産であると認識。以来、官民協働による町並み保存の取り組みが20年近く継続される。

住民民主体の約40の活動団体は、空き家の再利用や世界遺産登録など、のテーマで町並み保存・活用の取り組みを行う。



観光客でにぎわう大森町

### わらしべカリスマ(観光カリスマ 松場登美さん)

石見銀山大森町にこだわり活動する松場さん。町にある、あらゆる素材をデザインすることをコンセプトにした異業種ネットワークを立ち上げ、今では「NPO法人 納川の会」のメンバーとして活躍する。「それぞれの夢を大切にし、個人が光り、その結果、町も光る」との発想のもと、プロによる音楽会や「鄙(ひな)のひな祭り」を行い、住民意識を高める。自らデザイン・販売する生活雑貨は、銀山の生活文化を発信し、観光客の増加に貢献している。



松場さんが撮り続けて15年になる町民元気ポスター

### 石見銀山ガイドの会

平成12年に発足した「石見銀山観光ボランティアガイドの会」。接遇マナー向上や歴史・文化の学習によるガイドの資質向上に努め、平成17年に利用者が1万人を越えた。平成18年、名称を「石見銀山ガイドの会」に変更。ガイドを有料化し、更なるガイドの向上を目指す。 ガイド



### 石見銀山を未来に引き継ぐために (世界遺産登録にむけた取り組み)

「石見銀山」の価値は、遺跡とそれを取巻く自然・人々の暮らしが調和した姿にある。官民協働で組織された「石見銀山協働会議」は、銀山を単なる観光資源としてではなく、その価値を未来に引き継いでいくことを目指す。分科会での現地調査やワークショップを重ね、持続的な観光振興(保全と活用の両立)を目指した「石見銀山行動計画」を平成18年3月に策定。



協働会議での街道調査

#### 問い合わせ先

島根県大田市石見銀山課

Tel : 0854 - 82 - 1600 <http://www.iwamigin.jp/ohda/kyoudoukaigi/>

石見銀山ガイドの会 Tel : 0854 - 89 - 0120

石見銀山ミュージアム <http://www.iwamiginzan-muse.jp/>